

POTT in 香川 2018.11.17 (四国こどもとおとなの医療センター)

日時: 2018年11月17日(土) 13時~17時

参加者: 21名(看護師、医師、理学療法士等)

講義・指導: 迫田綾子(日本赤十字広島看護大学)

ファシリテーター: 齊藤三江子(四国こどもとおとなの医療センター)、兼本ひろみ(徳島大学病院)、藤澤美江(高松平和病院)、定松ルリ子(訪問看護ステーション松山医師会) 青江美弥(徳島赤十字ひのみね総合療育センター)



広がれPOTTの輪



患者さんが食べる事が楽しくなるために実践します!



体験学習は、参加者みんなイキイキ実施して、あっという間に時間がたちました。

【参加者のアンケート・感想】

- ・患者役になって普段行っていることが患者さんの負担になっていることがわかった。
- ・正しいポジショニングをすることで誤嚥の予防と安楽な食事ができることがわかった。
- ・今までは食べられていないと粥やペーストに変更していたが、実際の食事場面をもっとよく観察してみようと思った。
- ・研修に参加して患者さんの姿勢全体をみることの重要性がわかった。
- ・全員への実践は難しいけれど、1人からでも実践していきたいと思った。
- ・学んだことは実践していきます! 復習をして施設で伝えたい。
- ・NSTのように誰もがPOTTという単語を知っているようになってほしいと思った。

